

内容見本



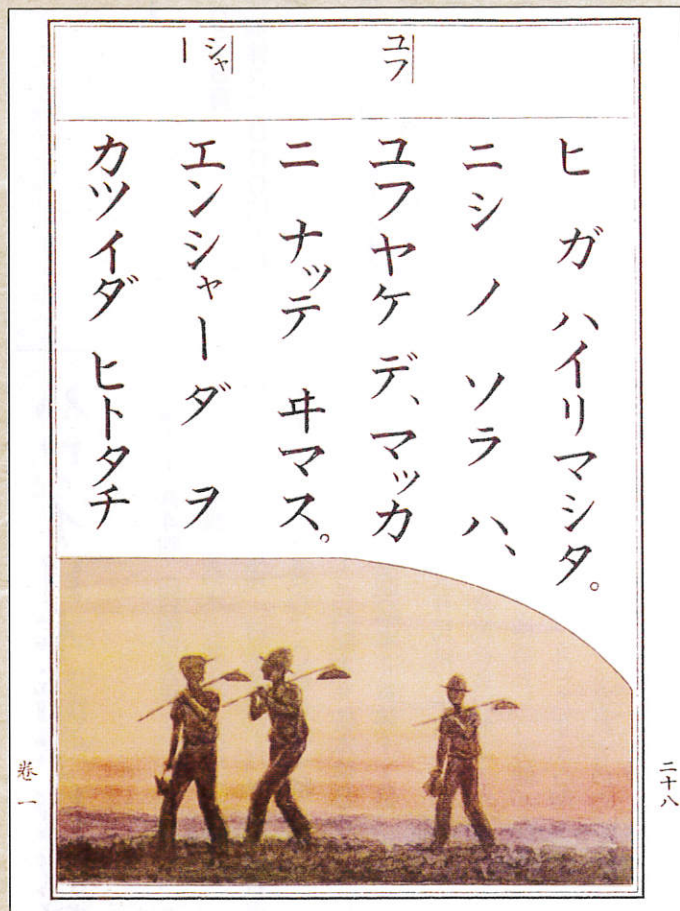
もくろく	
一	ラッパ兵ジョーズ
二	をむ様の手紙
三	日記
四	ひなまつり
五	神
六	くもの巣
七	少彦名のみこと
八	船ノ上ト腰ノ上
九	波
十	ブラジルの発見
十一	コロンの卵
十二	小さなねじ
十三	天孫
十四	犬のてがら
十五	虹
十六	胃と腸
十七	分業
十八	月と雲
十九	水と電氣
二十	笑と話
二十一	二つの玉
二十二	葉書だより
二十三	百五

第十五 ブラジルにおける日本人

今やブラジルには、二十萬近い日本人及びいはゆる日系伯人が居る。さうして彼等は、ブラジル國發展の爲にも、又故國日本の名譽の爲にも、一生懸命になつて働き、其の手に成つたものは、コーヒーにせよ、棉花にせよ、米にせよ、とうもろこしにせよ、馬鈴薯にせよ、或は蔬菜、柑橘にせよ、皆其の質のすぐれて居ることは、何人も認める所であり、其の量もまた決して少くない。

量 成 故 展 伯 系

第十五 ブラジルにおける日本人



不二出版

〒113-0023
東京都文京区向丘1-2-12
電話 03-3812-4433
ファクシミリ 03-3812-4464
振替 001600294084

2015/12

戦前期ブラジル移民 日本語読本 全1巻

【編集復刻版】

全1巻

- ◎ 体裁 — A4判（四面付方式）・上製・総300頁（原本総1、140頁）
- ◎ 解題 — 根川幸男
- ◎ 推薦 — 森本豊富、エドワード・マツク
- ◎ 原本提供 — 学校法人日本力行会、東書文庫
- ◎ 刊行 — 2016年1月
- ◎ 定価 — 本体33,000円＋税

ISBN978-4-1835017827-4



一九三六年から翌年にかけて刊行された、ブラジル初の日本語読本教科書である『日本語読本』（著作兼発行者ブラジル日本人教育普及会）全八冊を四面付け方式の一冊に合本、そしてカラーページをそのまま再現して復刻刊行する。

この『日本語読本』は素材の多くを当時の国定教科書から採っているが、中には「ブラジルの発見」や「オズワルド・クルース」など、ブラジルの偉人・歴史上の人物の伝記が収録されている。また、ブラジルの日系女生徒の作文、ポルトガル語教科書からの翻訳教材も見られ、「日本の教育」と「ブラジルの教育」の融和への志向性を垣間見ることが出来る。

容易に手に取ることができない貴重な資料である。

不二出版

*表示価格はすべて税別

『戦前期ブラジル移民日本語読本』 推薦文

戦前期『日本語読本』の地域間研究に貴重な資料

森本豊富（早稲田大学教授）

戦前、ハワイ、北米、中南米へ渡航した日本人移民は、二世の誕生とともに教育問題に直面することになった。日本帰国が前提であれば、帰国後の「帝国臣民」としての日本語教育を施す必要がある。一方、永住志向となれば、現地にふさわしい「日系市民」としての教育を施すことになる。文部省編纂の国定教科書を使用していた日本人学校（または国語学校、日本語学校）も、外国語学校取締法などの外圧もあり、次第に現地の事情に適した教科書編纂を迫られた。その結果、一九二〇年代から一九三〇年代にかけて、ハワイ、シアトル、カリフォルニア、ブラジルで、それぞれに『日本語読本』が編纂された。ハワイでは修身書も数多く刊行された。

最近になって、『日本語読本』の復刻版が次々と世に出ている。不二出版から出版されたハワイ版全一〇巻（二〇一二）、文生書院のシアトル版（二〇一二）とカリフォルニア版（二〇一四）である。この度、間髪をいれず、これらの復刻版に続いてブラジル日本人教育普及会編の『日本語読本』の復刻版が刊行された意義は大きい。それは、本来、一国史観ではとらえきれない移民史研究において、二国間のみならず複数地域間を比較する素材を提供することになるからである。当時の国定教科書、北南米、ハワイの『日本語読本』の内容とその編纂を巡る様々な攻防を吟味し比較することによって、当時の国際状況が、そして日本人移民教育者たちが置かれた立場と選択の足跡が垣間見えてくるはずである。

日本語の「海外発展」史のために欠かせない資料

エドワード・マック（ワシントン大学シアトル校准教授）

米国における初期の日系移民の生活にとって最も重要な要素の一つは日本語教育であった。日本語は日本国外で生まれた世代とその親の世代だけでなく、日本社会と日系社会とをも繋ぐものと考えられていたからだ。言語は文化の継続にとって不可欠なものとみなされていた。

日系移民が体験した第二次世界大戦中の混乱や苦難によって、初期の日系移民の記録の多くが損なわれた。しかしながら近年では、失われたと思われていた資料が発見され、初期日系移民の歴史、特に日本語教育の実態に関しての理解はこれまでに例を見ないほど進んでいる。そうした資料の中には、ハワイや米国西海岸において、「本物の」日本語教育体験実現を願う声と、現地で存在した様々な政治的圧力の両者を満足させる形で発行された教科書も含まれている。

根川幸男先生と不二出版より、ブラジル移民のために編集された教科書が復刻される事は、南米の日系コミュニティが北米とは似て非なる状況にどう対応したかという疑問を解くための大切な鍵となりそうだ。またこれまで原本全巻を見る事のなかった資料の質の高い復刻版は、移民研究、教育史、言語政治学分野の研究者にとって有益なものとなるだろう。

（田中あずさ訳）

日本力行会Ⅱ発行
大正2年〜昭和20年

力行世界 全39巻・別冊1

体裁——A5判・B5判・B4判／上製／総20、078頁
別冊——解説（和田敦彦）・総目次・索引（分売価格 本体3、000円＋税）
推薦——飯田耕二郎／根川幸男／日比嘉高／平井廣一
価格——本体762、000円＋税
（第1回配本Ⅱ本体75、000円＋税、第2〜7回配本Ⅱ各本体95、000円＋税、第8回配本Ⅱ本体117、000円＋税）

本誌は、一九一三年より現在も刊行中の日本力行会機関誌である。日本力行会は一八九七年、キリスト教徒であった島貫兵太夫が苦学生救済・海外発展の必要性を唱えるために設立された。『力行世界』は、世界各地に在住する会員の声、移民を希望している人との問答、渡航の方法等、移民に関する記事を豊富に提供する「移民情報の宝庫」であるが、揃いで所蔵している研究機関は皆無であり、容易に入手できなかった。今回の復刻により、移民史をはじめキリスト教史、教育史、広く近現代史研究に供するものである。

日本力行会Ⅱ発行

明治28年〜明治29年（第一次）／明治32年〜明治44年（第二次）

救世 全2巻・別冊1

体裁——A5判・B4判／上製／総762頁
別冊——解説（和田敦彦）・総目次・索引（分売価格 本体1、000円＋税）
推薦——坂口満宏／竹内洋／出村彰
価格——本体48、000円＋税

『救世』は、日本力行会を設立した島貫兵太夫が、一八九五（明治二八）年に創刊した伝道誌である。キリスト教の伝道活動、事業についての論説、報告を主に伝え、また同会が苦学生の救済を活動の端緒としたことから、苦学生の救済情報も豊富に掲載している。さらに、日本力行会は救済の地を米国に拓き、苦学生の渡米を勧めながら『渡米新報』を刊行、一九〇九年五月に『救世』が『渡米新報』を吸収してからは、海外事情や海外在住会員の情報が豊富に掲載されるようになる。現在、学校法人日本力行会所蔵の五二号分のみが確認されている稀覯書である。明治期キリスト教史、教育史、移民史を補完する重要資料である。

ハワイ日本語学校教科書集成 全10巻

体裁——A4判（四面付方式）／上製／総3、627頁（原本総14、508頁）
解説（高木（北山）眞理子）付き
推薦——沖田行司／白水繁彦／バゼル山本登紀子／吉田亮
価格——本体280、000円＋税
（第1・2回配本Ⅱ各本体84、000円＋税、第3回配本Ⅱ本体112、000円＋税）

ハワイへの日本人移民は、一八八五年の「官約」により本格化し、定住化の過程で、第二世代の教育問題が移民社会の懸案となる。アメリカの同化政策、外国語学校取締法、これに対する違憲裁判と勝訴という苦闘のなかで、多いときは日系二世の九割が日本語学校で学んだ。本集成は、一九一八年から四一年までに布哇教育会、布哇中央学院、本派本願寺学務部、布哇教育局等が子弟教育のために独自に編纂出版した日本語読本と修身教科書を収録。教育史のみならず移民・民族史の貴重な史料である。

中西直樹編・解題

仏教海外開教史資料集成〈南米編〉 全3巻

体裁——B5判・A5判／上製／総1、526頁
推薦——大村英昭／坂口満宏
価格——本体60、000円＋税

本資料集成は、南米における膨大な仏教開教関係の記録であり、仏教教団の海外の現状と歴史を検討するための必要不可欠な資料集である。

〈収録資料抜粋〉 全一七点

『伯国仏教篤信功労者名鑑』ブラジル仏教徒協議会編、一九六〇年
『米国視察談』井上円了著、一九一二年
『うかつに行けない南米』松宮石丈著、一九二七年
『平野廿五周年史』平野植民地日本人会編、一九四一年
『南米開教三五年誌』真宗大谷派南米教団編、一九八七年

関連図書